

愛をこめた運動会

前日までの悪天候が嘘のように、晴天に恵まれた運動会日和となりました。わずか1ヶ月ほどの短い練習時間の中で、子どもたちは一生懸命練習し、先生方の懸命にご指導された成果が、青空の下で繰り広げられた107回目の大運動会でした。また、学校運営協議会主催の「みんなで玉入れ」、PTA競技の「今も昔も、レツ・キス(ジェンカ)」に保護者の皆様、先生、そして地域の方々、来賓の方に至るまで、大勢の方にご参加頂き大変嬉しく思います。ありがとうございました。

昼食時には、夜須中学校の吹奏楽部の生徒たちが、日の熱さを吹き飛ばすかのように爽やかな演奏を披露してくれました。中牟田小卒業生の姿もあり、こうした機会に母校を思う心、愛校心が育ってくれたらと思います。

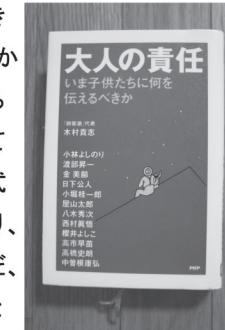
白組赤組の子どもたちは勿論、あの日、運動場にいた全員で完成させた運動会だったと思います。

108回目の運動会は更に、もうひと回り、愛の輪が広がるレツ・キスにして行けたらと欲深く思います。



『大人の責任』
いま子供たちに何を伝えるべきか
木村 貴志 著 PHP研究所

「一人ひとりの大人が自分の在り方と生き方を見つめ直し、子どもに何を伝えたいのかを大人として考えること」を、考えさせられます。自分自身がいかに学び、親としていかに自己改革をしていくか…。対談形式で読みやすいのですが、難しい内容もあり、読むのに時間がかかります。読むと、ただ、ぼーっと大人(親)をしていてはいけないと気付かされます。子どもに自分の後ろ姿を見せられるために、親(大人)として、今、何をすべきか…。



5/17 (日)
PTA奉仕作業

翌週に運動会を控え、地方委員会の下、奉仕作業を行いました。前日の中学校の運動会が延期されるというイレギュラーにも関わらず、担当地区の保護者の皆様が時間の許す限りの中で、汗を流して下さいました。そんな中にも笑顔があることが素敵だな、と思いました。次回は8月23日(日曜日)に予定されています。担当地区保護者は、よろしくお願い致します。

歴代PTA
会長会・校長会
(別名/たけのこ会)

楽しく、
美味しく学ぶ

5/30(日)。歴代PTA会長会・校長会が開かれました。昭和から平成までの歴代PTA会長、副会長、校長先生にご出席頂き、総会に始まり、小学校PTAの発展、PTA活動の現況等について懇談を行いました。中牟田小学校PTAの歴史・伝統を感じるひと時でした。

6/5(金)。1年生の親子レクレーション&給食試食会が行われました。運動会で披露されたダンス「インベーダー・インベーダー」の体育館バージョンに続き、親子でドッヂビー大会を行いました。学校での子供の様子が伝わり、保護者と先生のコミュニケーションが図れるとても良い機会だったと思います。その後、会場を弥四郎ホールに移し、健康委員主催による給食試食会が行われました。栄養教諭の池尻先生より給食を通しての食育や栄養基準のお話、衛生管理についての説明をしていただきました。栄養もあり、美味しい給食に驚かれた保護者の方も多いのではないでしょうか?子供たちの学びの場が、教室だけではないことに気付かされる体験でした。



不安な時、人は誰かに撫でられると安心します。抱きしめるという行為は、言葉で愛を伝えるより、ずっと素直に愛情を伝えられる手段。言葉によって伝えられた愛は頭で理解するけれど、撫でられたり、抱きしめられたりする行為は、体温が肌に伝わるように、その愛情が相手の心にダイレクトに伝わる。しかも、浸み込むように優しく心に伝わって行くという優れもの。子どもは、その心地よい愛情を更に吸い込むと自ら心を寄せてくる…。誰かに愛されている(守られている)という実感があれば、人は強くなれる。前向きになれる。失敗しても立ち直れる。きっと、私たちもそのように育てられてきたのだと思う。だから、子供たちの心には、いつも毎日、親の愛情をたっぷりと注ぎ込んであげて下さい。キモと避けられるその前に…。

余談: 大人のコミュニケーションにも使えないわけではないけど、一つ間違う痴漢行為とみなされるから注意が必要。扱い方次第で魔法にも違法にもなります。ちなみにスキンシップとは、肌と肌との触れ合いではないそうです。

撫でる行為、
抱きしめるという魔法。

6月

■2日(火)、16(火)朝のあいさつ運動 ■8(月)運営委員会 ■18日(木)町連総会

■22日(月)学校運営協議会 ■23日(火)ふれあい参観、省テレビ・省ゲーム・家読 ■28日(日)資源回収